学校番号	218

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。
・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身に付けます。
・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざしして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録 定期考査の結果 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録 製作物 定期考査の結果 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1・2	食生活をつくる	○食生活について考える。 ＊食品実験（1回） ○食事と栄養・食品 ○食品の衛生と安全 ○これからの食生活 ○調理の基礎 ＊調理実習 5月～12月（3回） ○食文化	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：自分の食生活を振り返り、学習した内容を自らの食生活に活用しようとする意欲をもって学習に取り組んでいる。 b：健康や環境に配慮した食生活の在り方について課題解決に向けて考え、工夫している。 c：主体的に食生活を営むために必要な栄養、食品の選択、調理、食生活の管理などの技術を調理実習を通して身につけている。 d：栄養、食品、調理、食品衛生等について、科学的に理解し、食生活に必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 実習記録 自己評価

2・3	子どもと共に育つ	○命を育む ○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ○これからの保育環境	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○	a：子どもの発達・保育・福祉について関心をもち、主体的に学ぼうとする意欲や態度がみられる。 b：子どもに関わる課題や問題について、メディアからの情報についてその原因や対応について考え、まとめることができる。 c：子どもの心身を健全に育む技術を身に付けている。 d：子どもを育てるために必要な知識を身につけ、社会的支援の活用についても理解している。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査
		各学期で設定した単元を範囲として定期考査を実施する		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。